



ケロちゃんコロちゃん 地方民鉄応援プロジェクト

ケロちゃんコロちゃん 応援ニュース No. 64

平成26年7月31日発行

発行：一般社団法人 日本民営鉄道協会 運輸調整部 地方交通室 地方鉄道課
〒100-8171 東京都千代田区大手町 2-6-1 朝日生命大手町ビル 16 階 Tel. 03-5202-1406(地方交通室)

パワースポットを求めて大雄山最乗寺へ。暑～い夏を乗り切るケロ！

みなさんの健康と幸せを守るコーワのケロちゃん、コロちゃん(※)だよ。

“夏がく～れば 思い出す～ (^σ^)” 毎年、夏休みになると海や山に出かけたくなくてウズウズするケロ！

でも、今年は猛暑続きで辛いケロ～(;´Д`)。ふたりは長～い夏休みを元気に乗り切るため、強力なパワースポットを訪ねてパワーを充電することにしたケロ。

地方民鉄の中には、神社や寺院をお参りする人たちを運ぶために敷設(ふせつ)された鉄道があるんだって。

調べてみると…伊豆箱根鉄道の「大雄山線」もそのひとつ。終点・大雄山駅の近くには、屈指の名刹(めいさつ)「大雄山最乗寺」があるケロ。

ふたりは養老溪谷にこだまするセミの声に送られて、パワースポットを訪ねるミラクルな旅に出発しちゃうよ！



※「ケロちゃん」「コロちゃん」は、興和㈱の登録商標です。

大雄山線は、最乗寺をお参りするための鉄道として発足したコロ！

(ケロちゃん) 大雄山線のほか、社寺お参りのために敷設された地方民鉄は？

(コロちゃん) 例えば、次の鉄道は社寺参詣と緊密な関係があると言われているコロ。

高尾登山電鉄(高尾山薬王院)、江ノ島電鉄(江島神社)、水間鉄道(水間観音)
叡山電鉄叡山本線(比叡山延暦寺)・鞍馬線(鞍馬寺)、能勢電鉄(能勢妙見山)、
一畑電車(一畑薬師)、高松琴平電気鉄道(金刀比羅宮)

(ケロちゃん) 大雄山線の前身は、大正14(1925)年10月15日に開業した「大雄山鉄道」。当時の筆頭株主は最乗寺だったそうだよ。現在は、西武グループの鉄道として、地域のみなさんの通勤・通学・買い物や、観光などに利用されているケロ。

(コロちゃん) 90歳になっても元気なのは、最乗寺からもらったパワーのおかげコロ？

伊豆箱根鉄道には、静岡県内を走る駿豆(ずんず)線と、神奈川県下の大雄山線のふたつの路線があるコロ。



大雄山最乗寺



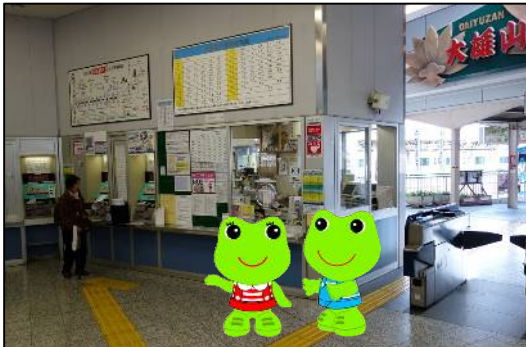
路線図：伊豆箱根鉄道のホームページより転載

バス乗換案内 Bus route



小田原駅から大雄山駅まで21分の7千旅行！

小田原駅のきっぷ売り場とホーム



(ケロちゃん) 小田原駅は、JR東海道新幹線、JR東海道本線、小田急小田原線、箱根登山鉄道、それに伊豆箱根鉄道大雄山線の5つの路線が集まっているケロ！

(コロちゃん) 大雄山線はPASMOも使えるよ。おやっ、お得な往復割引乗車券が自動販売機で売っているコロバ(´▽`)ノ

(ケロちゃん) 小田原駅～大雄山駅の電車運賃と、大雄山駅～最乗寺の伊豆箱根バスの運賃がセットになった**大雄山最乗寺(道了尊)往復割引乗車券**だって。大人1030円、小学生530円！

(コロちゃん) 今ではめずらしいクロスシートの車両もあるコロ。

(ケロちゃん) 終点の**大雄山駅**は、平成10年に、関東運輸局の「**関東の駅100選**」に選定されたケロ。三角屋根がステキ。



クロスシートの車両もあるケロ



最乗寺まで伊豆箱根バスで約10分！

到着！

600年の歴史を誇る大雄山最乗寺でパワーを満充電したケロ！

～ケロちゃんのレポート～

最乗寺は、約600年の歴史を誇る曹洞(そうとう)宗のお寺で、ご本尊は釈迦牟尼仏(しゃかむにぶつ)。了庵慧明禅師(りょうあんえみょうぜんじ)というお坊さまが開山したケロ。

お寺を守るのは**道了尊(どうりょうそん)**と呼ばれる**天狗さま**。大天狗・小天狗の像は迫力満点ケロ！

山門近くにある**座禅石**が、パワースポットと言われているケロ。境内には夫婦和合・縁結び・交通安全・健脚などに功德があるといわれる**和合の大下駄**も奉納されているケロ。



神秘的な雰囲気にも包まれてケロ。



静かなたたずまいの書院。



大人より大きい下駄があるケロ～。



リアルな天狗さまが方々でお寺を守っているコロ。

～コロちゃんのレポート～

パワーの源泉は何と言ってもおいしい食べ物。バス停近くの売店では、天狗そば(うどん)、みそおでん、甘酒が待っているコロ。夏には冷たいおそばや、ところても待っているコロ。銘菓・天狗せんべいもお土産にどうぞ！



天狗せんべいだよ。



*「応援ニュース」では、ケロちゃんコロちゃんの応援活動の様子をお知らせします。

*バックナンバーは一般社団法人日本民営鉄道協会のホームページ「地方民鉄応援プロジェクト」でご覧いただけます。